

通常クラブ副会長が兼務しております。クラブ奉仕担当理事といわれております。

◎委員長の任務

各委員長は理事会の承認をえた上、会長より任命されるものでそれぞれの委員会所管の分野において「全ての任務」を監督し、且つ各委員会との調整に当るものであります。

一人の責任者が居りませんと委員会の計画の立案、討議、実行について「意見のとりまとめ」、「仕事の監督」も出来ず、委員会の独走によって他委員会と重複計画を生みだしたり、非効果的計画を樹立してしまふからであります。

委員長は理事会によって特別の権限を与えられた場合を除いて、付託された任務を理事会へ報告して承認を得るまでは独自に行動してはいけないことになっております。勿論、クラブ細則で規定せられている委員会の任務についても行動前にクラブの最高管理主体である理事会に承認を求めなければなりません。特定、特別及び任意各委員会（小委員会）の委員長は所属の四大奉仕委員長を経て理事会に報告及び承認を得ます。

又、定期的・臨時的に実施される「委員長会議」等にも必らず出席することや、炉辺会合のリーダーとなることはいうまでもありません。

それでは以下、各委員会について簡単に説明してみましょう。

〔社会奉仕委員会〕

この委員会はクラブ会員が、その地域社会に対する諸責務を遂行するのに役立つ指導と援助を与える方策を考案し実施する委員会であり

ます。

地域社会に対する責任遂行

社会奉仕は職業奉仕が社会的に展開したものであり、間口が余りにも広いので一寸とつきにくいと思われませんが、ロータリアン個人個人に奉仕の訓練と実践を行なわせるところに社会奉仕の真の目的があります。そして社会奉仕はクラブ全体で行なうべきで、その中に会員個々の訓練と実践が見出すことが出来るものであります。

〔国際奉仕委員会〕

この委員会はクラブ員が、国際奉仕に関する事柄における諸責務を遂行するのに役立つ指導と援助を与える方策を考案し実施する委員会であります。

国際的平和に対する責任遂行

国際奉仕は職業奉仕が社会奉仕に展開され、個人ロータリアンの連り（つながり）によって可能なものであります。同じ目的をもつロータリアンが、お互いに善意の交換、相互理解から国際親善、国際理解が生まれてまいります。

〔職業奉仕委員会〕

この委員会はクラブ会員がその職業関係における諸責務を遂行し、且つ会員各自の職業上の一般水準を上げるために役立つ指導と援助を与える方策を考案し、実施する委員会であります。

職業使命観に対する責任遂行

この職業奉仕は最短距離にある奉仕の機会であります。何故なら会員各自は、その資格を得る段階において「職業上良い世評をうけている者でなければならない」からであります。そして職業は「有益で且

つ一般に認められた」ものであるからであります。有益な職業の代表者である会員の最も手近な、実行し易いものは己れの職業であります。これを奉仕に向けるところに「天職」といわれ、利益追求のみに向けると単なる「金儲け」となってしまうのであります。ロータリーは職業奉仕から始まるわけであります。

〔出席委員会〕

この委員会は会員が、すべてのロータリーの会合に出席することを奨励する方法を考案することを目的としております。すべてのロータリーの会合とは、例会は勿論のことクラブ協議会、地区大会から国際大会への出席を包含しております。出席補填（メイキャップ）、出席率向上法、出席不良原因発見への努力が、出席委員会に対して求められております。

会員の会合出席への奨励遂行

会員の出席率記録、会員資格に抵触する出席率の有無、すべての会合出席への奨励周知、出席率優秀会員の表彰等をその任務としております。

〔親睦活動委員会〕

この委員会は会員間の「知り合うこと」、「友誼をもつこと」を増進させ、クラブで計画したロータリーのレクリエーションや社交的活動計画への参加を奨励し、又はクラブの一般目的遂行に必要とされる任務（会長、理事会より課せられた任務を含む）を遂行することあります。

会員間親睦の増進を遂行

この委員会は、その任務の性質上、積極的な活動が要求されます。

即ち、会員間相互の親睦を図るための仕事は勿論であります。会員間のみならず、ビジター、他のクラブ及び会員家族との親睦増進を図ることも当委員会の役目であります。この為、ビジター応待の方法や、家族会へのアプローチ、近隣クラブとの合同レクリエーション（納涼会、ゴルフ会等）なども考えて親睦を図る増進策とすることも必要でありましょう。

〔雑誌委員会〕

この委員会はロータリアン誌（THE ROTARIAN）に対し関心を示させること、毎月の雑誌の簡単な紹介をすること、新会員教育に雑誌利用を奨励させること、非ロータリアンの講演者、図書館、学校等に雑誌を贈呈して、役立たせることを任務としております。

——ロータリー雑誌への関心度を高め、

それによって広く社会に役立てる任務の遂行——

ザ・ロータリアンは英文であります。クラブ会員の中の英語理解者により和訳してもらい、又日本語版「ロータリーの友」誌をも併用して委員会任務を遂行すべきであります。この際、興味ある記事を提供しませんが関心が薄くなりますので注意しなければなりません。

〔会員選考委員会〕

この委員会は推薦せられた候補者を ①職業上 ②社会的地位上 ③一般的適格性から調査して理事会にその可否を報告することを任務としております。

——徹底的調査による候補者の適否判断の任務を遂行する——

この場合、推薦カード（理事会より回付せられてくるもの）に対しては一件残らず調査すべきであります。そして委員会の立場のみなら

ザロータリークラブの立場に立って私情を捨てて適否を調査し、その結果を純粋に理事会に報告すべきものであります。

〔 会員増強委員会 〕

この委員会は職業分類表を注意して開放されている職業分類を充填するために適当な人を理事会に推薦することを任務としております。

—— 適格会員候補者発掘への任務遂行 ——

勿論、クラブ会員の新会員推薦権利を奪うものではなく会員増強のために設けられた委員会でありますので、この委員会は会員に対し適格者の発掘に協力を求めることも任務の一つであると考えねばなりません。

〔 プログラム委員会 〕

この委員会はクラブ例会や臨時の会合のためのプログラムを準備手配することを任務としております。

—— 会員のためのプログラム編成任務の遂行 ——

プログラムの例会時間（1時間）に占める割合は約50%でありますので非常に重要であります。このプログラム如何で会員に対し「ツマラヌ会合」という観念を植えつけたり、出席嫌悪感を抱かせたりしますので充分、そのプログラムについては検討して下さい。プログラムは言い換えればロータリーの時間の「骨格」をなすものといっても過言ではないでしょう。

〔 広報委員会 〕

この委員会はロータリーの歴史、綱領及び規模を一般に周知せしめる宣伝方法を考案し、且つ実施することを任務としております。

—— ロータリー 宣伝周知策への任務遂行 ——

この為、ロータリーが特権階級の集りであるとか、金持ちの昼食会であるとかの世評を打破すべく広報しなければならない。宣伝広告（プロパガンダ）の最も効果的方法を考えて閉鎖的或いは排他的といわれる誤評を消去するよう努力しなければなりません。

〔 職業分類委員会 〕

この委員会は、充填及び未充填職業分類表を作成し、又は現在の分類表を再検討し、提供することと、新入会員候補者の職業分類の審査をすることを任務としております。

—— 職業分類表作成検討についての任務遂行 ——

職業分類表について充填（会員の居る状態をいう）及び未充填（会員の居ない状態をいう）についての資料を会員に提供して、新会員推薦への手がかりを示すものであります。

〔 ロータリー情報委員会 〕

この委員会は、会員候補者にロータリークラブ会員の特典、責任について知らせ、会員（特に新入会員）にそれらをよく理解せしめる外、ロータリー歴史、綱領、規模、活動状況を知らせめたり、ロータリーの方向について資料提供を任務としております。

—— ロータリーに関する情報周知任務の遂行 ——

ロータリー情報というのはNEWS許り周知せしめるのではなく、日本の「官報」のようにロータリー諸規約の周知ということが多くあります。このため、古参会員や熱意ある会員が任命されるようであります。そして最も重要なことの一つに、「新会員の教育」があります。即ち新会員にとってはロータリーを早く体得するための教官でもあり

ます。

〔ニコニコ箱委員会〕

この委員会は、会員が善意で拠出する“奉仕への拠金”を管理する委員会であり、スマイルボックス委員会ともいわれています。

— 善意の拠金についての管理任務の遂行 —

もっとも拠金の基準等は決めるものでなく自主的判断によることが「善意」という観点から好ましいものであります。奉仕は個人の篤志が基調となっております。

〔歴史編纂委員会〕

この委員会はクラブの歴史的活動を記録保存することを任務としております。継続的且つ長期計画的な方針により運営されねばなりません。

— クラブの歴史的記録の任務遂行 —

途中で挫折又は記録を不十分にしますと継続性が失われ、歴史的記録作成に困ってしまいますので、任期中の委員長は全体の流れの中の存在を忘れないよう留意しなければなりません。

〔クラブ会報委員会〕

この委員会は、クラブの活動を記録し、又、会員に対してロータリーに関する情報を提供することを任務とする委員会であります。そして会報の発行は会員間の親睦の促進剤ともなります。

— クラブ活動を記録し、会員にロータリー情報を

提供する任務の遂行 —

この会報（日報、旬報、週報等があります）はクラブ会員のローカ

ル的なニュースを提供し、クラブの活動をより深く興味を以て会員に知らしめるものであります。そしてロータリーに関する諸情報の内、必要度に応じて紹介することが大切です。何でもかんでも会報に載せるのではロータリーニュースやガバナー月信化しています。興味のあるものを抜粋して会員に知らせることが強いその反響があります。これによって「読まれる会報」となるわけでありす。

〔青少年奉仕委員会〕

この委員会は青少年に対して「奉仕の理想」を吹きこむために特別に設けられるものであります。ロータリー青少年奉仕について「ロータリアンは青少年の模範となるべきである」とスローガンで言っているように次代を担う青少年をロータリーという訓練の場で鍛えることにより、より良い社会が出来るわけでありす。

— 青少年に「奉仕」を教導する任務の遂行 —

成熟していない青少年を社会的に育成するについて、その方法如何でどういふふうにもなります。健康児にもなれば虚弱児にもなってしまいます。健康児に育てるため成年であるわれわれが努力する責任があります。青少年をこれらの健康児に育成するために必要な方策を考え、そして実施することは次代のロータリアンを育成することでもあります。

〔インターアクト委員会〕

この委員会はロータリーが直接育成する青少年活動であります。青少年の健全な育成を図ることを任務としております。そしてその対象は高校生を選び奉仕の実践の訓練をしております。会員は男女何れも問いません。クラブ奉仕と国際理解に貢献する世界的な友好精神で相

共に働らく機会を若人に与えるものであります。

高校生の育成活動を遂行

インターアクトは家庭、学校、社会及び国際をその奉仕の機会とするものであります。

インターアクトは昭和37年発足以来3000クラブ以上、70000名にもほる会員を擁しております大きな存在となりました。

〔ローターアクト委員会〕

この委員会もインターアクトと同様、ロータリークラブが直接、育成への実践を手助けしている青少年活動であります。会員の対象として、ローターアクトは18才から28才までの青少年（職業にある青少年）に限定しておりますが男女は問いません。そしてロータリークラブの区域内に勤務又は居住していることが必要であります。

職業青年の育成活動を遂行

ローターアクトは職業をもっているという共通点がありますのでロータリアンとの接触も比較的うまくゆくものであります。

ローターアクトは昭和43年発足以来1300クラブ、会員25000名を突破する会員を擁しております。日本のローターアクトは昭和43年3月現在で193クラブ会員4739名であります。そしてローターアクトクラブとインターアクトクラブの会員は同時に二クラブの会員となることは許されません。

〔青少年交換委員会〕

この委員会は各クラブ単位又は地区単位のもので海外への善意の使節として青少年を送り出したり受け入れたりすることに役立つものであります。16才～18才（概ね高校生）の青少年（男女の別なくロ

ータリアンの子弟でなくともよい）を約1ヶ年（或る時は夏休み中という期間もあります）、海外へ派遣交換するものであります。

青少年国際交流活動を遂行

先方の受入側はロータリアンで旅費（派遣ロータリーにて負担）、宿泊費、食費（受入ロータリー負担）以外の費用（例えば小づかい程度）を負担するものであります。ロータリアン宅における生活を肌で感じさせるところに実践的訓練があります。

〔ロータリー財団委員会〕

この委員会はロータリアンの善意から生ずる篤志寄付を集めてロータリー財団を作り、それらを有効に運用して海外へ留学生、研修生等を派遣して、国際間の親善、友好関係を増進せしめることを任務としております。即ち博愛、慈善、教育的に効果的な企画をもって各国民間の理解と友好を図るものであります。

こうして集められた篤志寄付はロータリーによって運営され、教育補助金、研究グループ、交換資金その他特別補助金として目的の為に使われます。

ロータリアンの善意の国際的参加資金を掌る任務の遂行

この篤志寄付について大口寄付者の栄典としてポールハリスフェロー（1000 \$ 以上）という制度もあり地区大会等で表彰され、メダルの授与が行われ、その善意をたたえられます。この外メモリアル・コントリビューターやハリス準フェロー等の顕賞規定があります。

4. その他必要知識

ロータリー・クラブ幹事として

知っておくべきことがらを示しましょう

- ① 一つのロータリー・クラブが他のロータリー・クラブと合同又は共同して奉仕活動や合同例会等の行事を行う場合には、地区ガバナーの承認を得てからでないと活動、行事の実施をしてはいけません。
注 承認願のフォームは特定されておきませんが、表題に「共催承認願」として、共催クラブ並びに会長署名の上、その趣旨、目的と計画の概要（具体的に記載）を記入してガバナー宛二部提出いたします。出来れば「承認願」及び「承認通知書」の写をクラブ近隣のバスターガバナー及び分区代理宛に一部送付することも好ましい結果を齎らすでしょう。
- ② 一つのロータリー・クラブが他のサービス・クラブ（例えばライオンズ・クラブや青年会議所等）と合同して会合を開催することは原則的には禁止されておきます。但し或る特別な場合には例外的に認められることになっておきます。例えば公園清掃奉仕に地域内の各サービスクラブが合同して行なうについての諸打合わせ会合のような場合には合同会合は認められるでございましょう。
- ③ ロータリークラブが他の団体に加入してはなりません。そしてその会員としての義務を負うべきではありません。例えば交通安全協議会の委員を委嘱された場合、クラブとしてではなく、役員又はそ

の趣旨にふさわしい委員会の委員等が個人の立場で加入すべきであります。もっともクラブ役員や委員が他の団体の役員や委員と会合を開くことには束縛されません。

- ④ 例会において酒類を提供することは、「酒類を食事の一部として供する習慣のない国（日本はこれに該当）においてはロータリー運動のためからも、避けることが好ましい」とされておきます。しかし、会員の誕生日や結婚記念日、新入会員歓迎会等における乾盃（少量の酒類提供）や正月発例会等における酒類提供は習慣として認められるべき範囲内であると思ひます。
- ⑤ どんな会員でも同時に複数以上のロータリークラブの会員となることや、正会員、シニア・アクティブ会員、名誉会員、バスター・サービス会員の籍をもつことは出来ません。そして、その会員資格はあくまでも個人のものであつて、個々の会員が代表又は支配している会社のものではありません。
- ⑥ ロータリークラブの会員が20名未満となりますと、地区ガバナーから「減少の理由」「再興の方法」について質問が有ります。そして地区ガバナーはその解決に力を貸してくれると思ひます。
- ⑦ 各クラブはあらゆる努力を払つて「若い人」を会員とされるよう望まれておきます。特にこの場合アデイショナル正会員の規定を利用したり、シニア・アクティブ会員となつたための空席となつた職業分類を「若い人」によって補充されるよう望まれておきます。

⑧ ロータリーの色 (ROTARY COLORS) については濃紺色と黄金色の二色とすると決められております。

⑨ ロータリーの公式言語は「英語」が認定されております。

⑩ ロータリー財団の 100 % とか 200 % 達成というのは、クラブの累積拠出金が直前ロータリー年度 12 月末の会員数を基にして 1 人 10 \$ に相当するクラブを 100 %、そして 1 人 20 \$ に相当するクラブを 200 % といっております。会員 80 名で 1000 % 達成したクラブというのは、その拠出金累計が $80 \text{名} \times 100 \$ = 8000 \$$ ということであり、即 1000 % ロータリー財団クラブと認められるものであります。

⑪ クラブが所在する地区内 (予め、いくつかの地区に区分されている) に分区代理というロータリアンがおりますが、これは地域内のクラブの役員に助力を与えた経験あるロータリアンの中からガバナーが指名するもので非公式代理で、ガバナーの任務は委譲することは出来ませんので、権限はもっておりません。あく迄もクラブ役員に対して必要な助力を与えることであります。クラブ役員の立場で解決出来ない問題等については分区代理にその指示を求めることが解決の糸口であります。

41